

Compact Driving Simulator V-TiPS

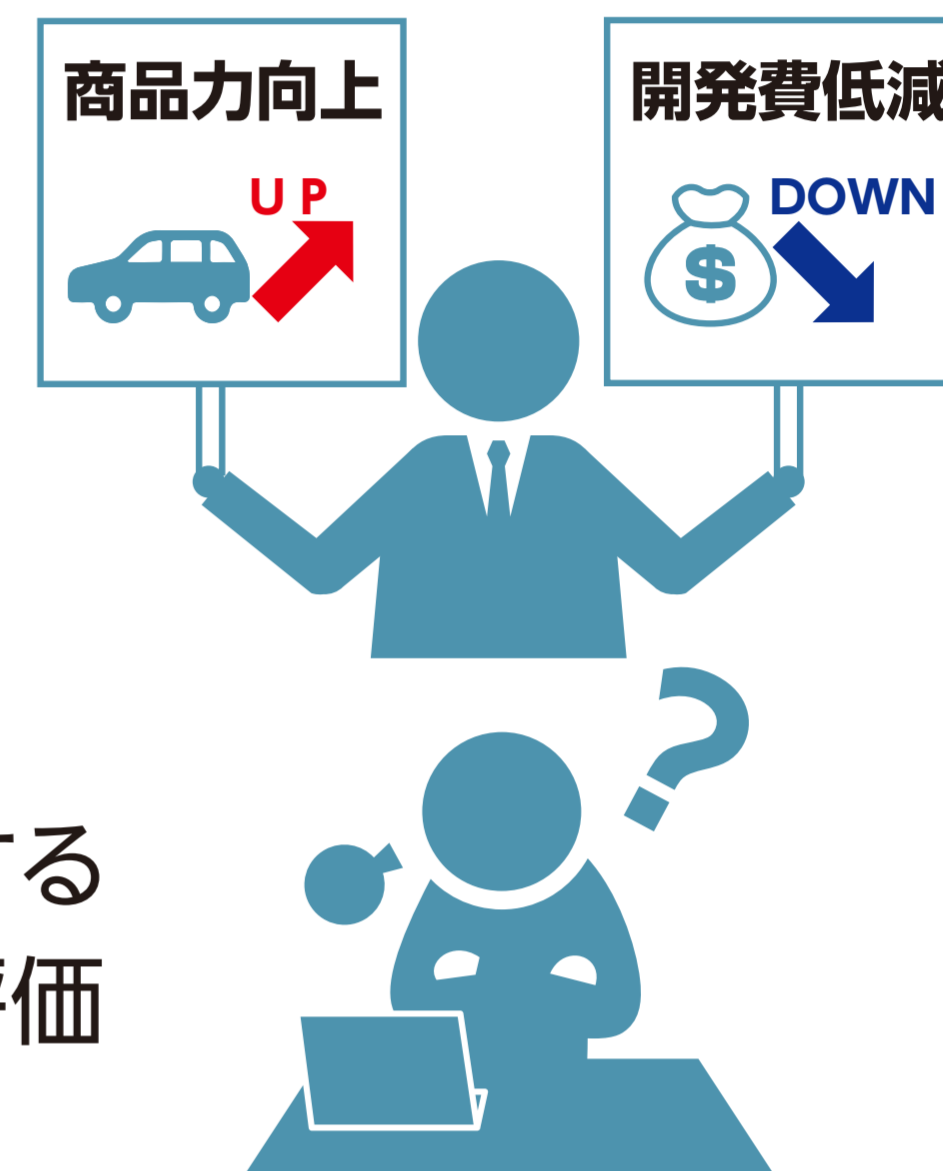


再現性の高い反力と、高応答な映像機能を備えた
ドライビングシミュレータで官能評価を実現

課題

グローバル化・現地最適化による開発コストの上昇

地域ごとの感性に適合した商品力の向上には
膨大な評価が伴い、結果として開発コストが上昇する



開発環境が複雑化した結果、評価時間を逼迫

評価装置、制御システム、シミュレーションモデル等、開発環境を構成する
要素が高度化。評価目的にあった準備に要する時間が拡大する反面、評価
時間を圧迫する

解決策

- ✓ **ドライビングシミュレータを活用する事でヒト・モノ・プロセスを、クイック&コンパクトに実現**
ワンオペレーション実現で作業性をクイック/設置面積 世界最小クラス/クラウド・AI活用(遠隔開発)で開発プロセスをコンパクト
- ✓ **評価を理解しているTTDCだからできる、フルエンジニアリングと専門部隊**
モデル組込み/プロセスにFitしたオペレーション/人の感性に応じたメカ/前後工程とのシームレスなつながり

リアルタイム化



ステア反力再現



トルク制御 0.1Nm

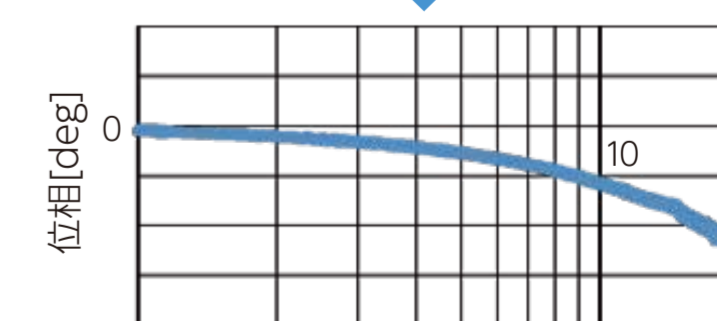
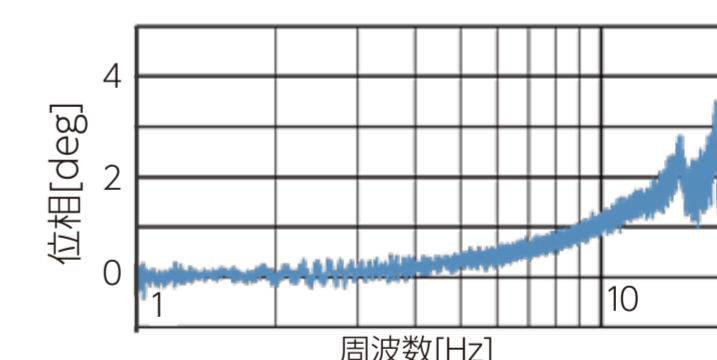
映像再現



応答 120Hz

M-P/F+ コックピット

Z軸加振 (2m/s²)
・共振周波数 10Hz ・位相遅れ



	可動範囲	加速度
Surge/Sway/Heave	-0.11~0.12m	6.5m/s ²
Roll/Pitch/Yaw	-9.1~9.6deg	250deg/s ²
ペイロード	~800kg	
共振周波	20Hz@M/PF/10Hz@Cockpit	

